

小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

- 目標をつなぐ
 - カリキュラムをつなぐ
 - 子どもの心をつなぐ
 - 教職員の意識をつなぐ
 - 家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和5年度 No.1 (2023.4.27)
 担当：熊本市教育委員会事務局
 学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

熊本市 (A・Bグループ小中 69校) に広がる小中一貫校

A=中1小1・B=中1小複

令和4年度までに小中一貫校となっている中学校区

芳野中学校区 富合中学校区 江南中学校区 二岡中学校区
 河内中学校区 江原中学校区 天明中学校区 **小中 18校**

研究モデル校から、令和5年度に小中一貫校へ移行した中学校区

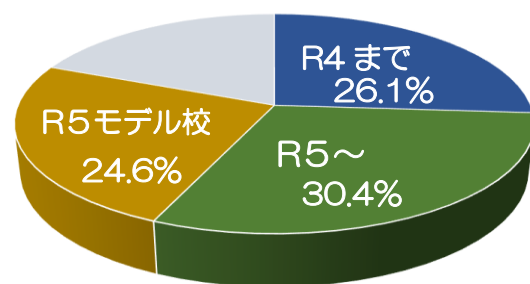
楠中学校区 植木北中学校区 城南中学校区
 下益城城南中学校区 鹿南中学校区 五霊中学校区 **小中 21校**

令和5年度の研究モデル校

花陵中学校区 城西中学校区
 飽田中学校区 力合中学校区
 日吉中学校区 **小中 17校**

令和7年度には、A・Bグループすべての中学校区が小中一貫校へ移行する予定です。

A・Bグループで小中一貫校及びモデル校の小・中学校の割合



令和5年4月現在

効果

小中連携、一貫教育の効果については、すでに取組を進めている市町村においては、ほぼ全ての市町村において成果が認められている。具体例としては、**中学生の不登校出現率の減少**、市町村又は都道府県独自の**学習到達度調査、全国学力・学習状況調査における平均正答率の上昇**、児童生徒の**規範意識の向上**、異年齢集団での活動による**自尊感情の高まり**、教職員の児童生徒理解や指導方法改善意欲の高まり等の**意識面の変化**といった結果が得られている。

文部科学省「小中連携、一貫教育の推進について」より抜粋

Ctrl+クリックを！